

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	市民文化スポーツ局スポーツ部 スポーツ振興課
評価対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

1 指定概要

施設概要	名称	北九州市民球場等2スポーツ施設	施設類型	目的・機能
	所在地	小倉北区三萩野二丁目10番1号	I	— ②
	設置目的	スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する		
利用料金制	非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制			
	インセンティブ制	有・無	ペナルティ制	有・無
指定管理者	名称	北九州野球株式会社		
	所在地	小倉北区三萩野二丁目10番1号		
指定管理業務の内容	1 管理運営に関する業務 ・受付、使用許可に関する業務（利用調整、許可に係る業務） ・清掃、警備、建物等保守点検業務 2 その他管理運営業務 ・事業計画書及び収支計画書の提出 ・関係機関との連絡調整 ・地域や類似施設との連携に関する業務 3 利用促進に関する業務 ・イベントや広報活動等による利用促進など 4 自主事業 ・市民のスポーツ振興に資する事業（スポーツ教室等）等の実施など			
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日			

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント				
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み				
(1) 施設の設置目的の達成				
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。				
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。				
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。				
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。				
【所見】				
【利用人員】				
区分	R1 年度	R2 年度	R3 年度	前年度比較
北九州市民球場	108,791 人	18,347 人	49,780 人	31,433
三萩野球場	14,675 人	8,534 人	9,705 人	1,171
三萩野少年球場	7,240 人	3,847 人	4,144 人	297
計	130,706 人	30,728 人	63,629 人	32,901
目標	145,000 人	150,000 人	150,000 人	
要求水準	145,000 人	145,000 人	145,000 人	
<p>※ . . . 評価対象年度</p> <p>休館日数 R2 年度：39 日（新型コロナ緊急事態宣言） R3 年度：93 日（新型コロナ緊急事態宣言）</p> <p>○利用人数は目標値に届かなかったが、主な理由は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休館及び人数制限によるものである。</p> <p>○誘致活動に精力的に取り組むことで、プロ野球公式戦（ソフトバンク）を2試合開催した。 また、独立リーグのプロ野球チーム「福岡北九州フェニックス」の開幕戦を、球団関係者と密な協議・調整を行うことで開催した。</p> <p>○ホークスOBを指導員とするホークス野球塾を毎週1回の頻度で開催し、利用者の増加を図るとともに、少年野球場では、地域の高齢者のグランドゴルフの利用を誘致することで、平日午前中の利用促進に努めた。</p> <p>○北九州市内中学生を対象に「北九州ベースボールクリニック」を開催した。 100名以上の生徒が参加し、本市の野球振興及び技術の向上に貢献した。</p> <p>○消毒液・体温計・二酸化炭素濃度測定器の設置、動線の確保など、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、利用者を安全に受け入れる体制を構築した。</p>				

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

【施設利用について】

満足度	【参考】 R1 年度	R2 年度	R3 年度
目標値	95.0%以上	96.0%以上	96.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	99.2% (43.6%・55.6%)	87.6% (48.3%・39.3%)	97.2% (54.3%・42.9%)

【職員対応について】

満足度	【参考】 R1 年度	R2 年度	R3 年度
目標値	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	97.9% (39.3%・58.6%)	86.9% (46.9%・40.0%)	90.7% (50.5%・40.2%)

※ ・・・評価対象年度

- 職員対応について利用者満足度の目標値に達していない。
- 日頃より利用者とのコミュニケーションを密にし、またアンケートボックス設置する等して、より多くの意見や要望を取り入れることに努め、改善に向けて迅速に取り組んでいる。
- HPや、公園・近隣店舗・交通機関内でのポスター掲示等により、プロスポーツの試合やイベント開催に関する情報を適時提供している。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

[所見]

【維持管理経費】

(単位：円)

区分	R1年度	R2年度	R3年度	前年度比較
委託料	46,700,326	40,063,704	46,874,647	6,810,943
修繕費	3,993,189	5,636,175	5,025,575	▲610,600
光熱水費	13,554,952	11,492,825	12,104,425	611,600
人件費	16,290,337	15,736,674	16,386,280	649,606
その他経費	1,881,131	4,240,250	1,972,201	▲2,268,049
合計	82,419,935	77,169,628	82,363,128	5,193,500
予算	82,168,009	82,525,000	82,525,000	

※ ・・・評価対象年度

○日常的な清掃や草刈り、施設や備品の小修繕を自社社員が行うことで、安価で迅速な対応に取り組んでいる。

また、トイレについても自動洗浄機能を使わずに、職員が定期的に清掃することで上下水道費の削減に努めている。

○高齢化が進む中で、経験・知識が豊富で能力の高い退職者を積極的に採用している。

(2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

【施設使用料収入】

(単位：円)

区分	R1年度	R2年度	R3年度	前年度比較
北九州市民球場	4,811,101	1,743,110	4,853,519	3,106,409
三萩野球場	2,283,520	1,225,700	1,309,420	83,720
三萩野少年球場	—	—	—	—
①実収入計	7,094,621	2,968,810	6,162,939	3,194,129

区分	R1年度	R2年度	R3年度	前年度比較
②減免額	3,485,889	906,050	4,464,855	3,558,805
③合計(①+②)	10,580,510	3,874,860	10,627,794	6,752,934

※ ・・・評価対象年度

○誘致活動に精力的に取り組むことで、プロ野球公式戦（ソフトバンク）を2試合開催した。

また、独立リーグのプロ野球チーム「福岡北九州フェニックス」の開幕戦について、球団関係者と詳細な協議・調整を行うことで無事開催することができた。

○小倉高校対東筑高校等の定期野球大会を誘致し、開催した。

○ホークスOBによる野球教室等の各種教室を開催し、利用者の増加を図るとともに、少年野球場では、地域の高齢者のグランドゴルフの利用を誘致することで、平日午前中の利用促進に努めた。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

[所見]

- プロ野球開催日は周辺道路の車両や観客で周辺道路が混雑するため、シーズン前に、地域住民に与える不便を可能な限り軽減するために、説明や協議を行った。
- 豊富な経験や資格を有する職員を配置することで、適切に管理運営を行うとともに、定期的に外部講師を招いて、管理に関する研修会を開催している。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

[所見]

- 熱中症対策として、製氷機による氷の作りおきや、冷房設備の完備した部屋（本部席、選手控室等）の開放等により、非常時に備えた。また、頻繁に注意喚起の場内アナウンスを行うよう主催者に促すなど指導した。

【総合評価】

[所見]

- 誘致活動に精力的に取り組むことで、プロ野球公式戦（ソフトバンク）を2試合開催した。また、独立リーグのプロ野球チーム「福岡北九州フェニックス」の開幕戦を、球団関係者と密な協議・調整を行うことで開催し、利用促進に努めた。
- プロ野球開催日は周辺道路の車両や観客で周辺道路が混雑するため、シーズン前に、地域住民に与える不便を可能な限り軽減するために、説明や協議を行った。
- 各種イベントにおいて、新型コロナウイルス感染症対策として人数制限、入館リストの作成、入場時の検温、手指消毒、マスク着用をはじめ、各諸室・備品等の定期消毒を徹底し、また主催者と協同しながら、利用者が安心する球場運営を実施した。

[今後の対応]

- 今後も、施設利用者や各団体等とコミュニケーションを密にし、利用者増、施設の利便性・満足度の向上に努めていきたい。